

平成29年12月13日

「内外為替一元化コンソーシアム」における「日韓送金実験」参加のお知らせ ～フィンテックにおける革新的な技術による柔軟で効率的なシステム構築の実現～

株式会社 千葉興業銀行（頭取 青柳 俊一）は、SBIホールディングス株式会社（代表取締役 北尾 吉孝）及びSBI Ripple Asia株式会社（代表取締役 沖田 貴史）が事務局を務める「内外為替一元化コンソーシアム」（以下、本コンソーシアム）において開始されるブロックチェーン関連技術（分散台帳技術）を活用した国際送金の共同実験に参加することとなりましたので、お知らせいたします。

第1弾の共同実験として、12月15日から韓国の手2金融機関（ウリィ銀行、新韓銀行）と、本コンソーシアムの参加金融機関61行のうち、当行を含む37行との間で送金実験を行います。この共同実験により、日韓の銀行で分散して保有する台帳が、送金に合わせてリアルタイムに更新がなされることを、双方で確認することとなります。日本側は本コンソーシアムにおいて構築した「RCクラウド（※1）」とその上に構築する外為業務用のインターフェースを活用いたします。

当行では、近年のICT（情報通信技術）の革新的変化と顧客行動や社会生活の変化に伴う決済の24時間化・リアルタイム化や少額決済等の振込ニーズの多様化とともに、越境eコマースや日本企業のアジア進出によるボーダレス化に対応するため、決済分野における新たな取組みとして、本コンソーシアムに参加しております。

（※1）「RCクラウド」とは、ブロックチェーン関連技術（分散台帳技術）を活用し、外国為替に加えて内国為替も一元的に扱う決済プラットフォームです。RCクラウドは、Ripple社の次世代決済基盤をクラウド上に実装する日本発・世界初の試みであり、2017年3月に当時43行での実証実験を完了し、2017年12月に商用利用を見据え「RCクラウド2.0」の構築が完了しております。